

近畿中国局フォレスターNEWS

Youtubeを使った「スマート林業の推進」に関する現地検討会

近畿中国森林管理局と国立研究開発法人 森林総合研究所 関西支所の共催により、令和2年12月3日(木)～4日(金)の2日間の予定で、ICT等の先端技術を活用した「スマート林業の推進」に関する現地検討会を、府県、市町村、林業事業体等の職員を対象に開催しました。

本検討会では、3密を回避するための会場の確保や定期的な換気を行い、会場に来られない方へは、YouTubeによるライブ配信を行う等の新型コロナウイルス感染防止対策を実施しました。

1日目の第1部では、大阪における新型コロナウイルス感染者増等により、会場参加からライブ配信参加への変更等が増加しましたが、府県、市町村等の林務担当者や森林組合及び企業など、森林・林業関係者約50人が参加しました。

閉会では、近畿中国森林管理局の山口局長から、「本検討会では、スマート林業の推進に向け、ICT等を活用した最新の取組に関する情報を共有し、今後の課題や方策について意見交換を行い、地域の森林・林業に関する課題解決に貢献していきたい。」と挨拶を述べました。

続いて、行政・専門機関・民間団体の7名から、林業イノベーション、地上レーザースキャナ、ICTハーベスタ、ドローンの活用などのスマート林業に関する最新の取組についての講演を行い、レーザー計測技術の精度向上、ドローンによる植栽木判定技術の検査業務への応用、ドローンによる苗木運搬の経費や労働負荷の軽減等について、参加者と意見交換を行いました。

閉会では、森林総合研究所 関西支所の桃原支所長から、「スマート林業はICTハーベスタや地上レーザースキャナ等の高価な機材導入が必要であり、収益が出るようなシステムの研究開発や導入が重要であり、この取組を関係者と連携して推進していきたい。」と現地検討会の総括及び閉会の挨拶が述べられました。

なお、2日目の第2部については、12月3日夕刻、大阪府のコロナ感染状況「大阪モデル」の赤信号が点灯したことを踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむなく中止を決定しました。

近畿中国森林管理局では、国有林のフィールドを活用した現地検討会の開催等により森林・林業に関する技術を普及し、地域の森林・林業の発展に貢献する取組を継続していきます。また、当日ライブ配信を行った動画の一部は、近畿中国森林管理局ホームページで公開を予定しています。



山口局長による開会挨拶



近畿中国森林管理局の取組発表



現地検討会HP

シカ被害対策における新たな捕獲方法（小林式誘引捕獲法）に関する現地検討会



シカ捕獲手法等の座学



ワナ設置の実演

令和2年10月から12月、鳥取森林管理署（10月21日（水）、三朝町総合文化ホール及び三徳谷国有林）、岡山森林管理署（10月28日（水）、津川山国有林等）、滋賀森林管理署（12月3日（木）、米原市役所山東庁舎等）の3署において、「シカ被害対策における新たな捕獲手法（小林式誘引捕獲法（以下「小林式」という）に関する現地検討会」を開催しました。

小林式は、エサによる誘引とくりワナによる捕獲を組み合わせた誘引式捕獲手法で、近畿中国森林管理局職員が開発しました。シカがエサを食べる際に、口元へ前足を置く習性を利用し、初心者でも比較的容易に設置、捕獲が可能な点が特徴です。これらの検討会は、「シカ被害の状況や捕獲方法の概要（座学）」及び「小林式の設置方法（実演と体験）」により、小林式の普及を図ることで、関係者によるシカ被害軽減の取組みを推進することを目的としています。

県、市町村、森林組合、猟友会等から参加した方からは、「仕掛ける場所の選択が容易で、初心者でも捕獲できそうだ」、「早速試して成果があれば広めたい」などの意見がありました。

近畿中国森林管理局及び森林管理署等では、「小林式」の普及に向けた取組みを継続していきます。



←小林式 HP

スマート林業と育林の低コスト化に関する現地検討会（島根森林管理署）

島根森林管理署は、令和2年11月30日（月）、仁多郡奥出雲町の八川国有林等において、「スマート林業及び育林における低コスト化に関する現地検討会」を開催し、島根県や奥出雲町等の6つの機関から計28名が参加しました。

午前の部では、八川国有林において、森林技術・支援センター（岡山県新見市）の職員が、地上レーザースキャナ機器（OWL）による森林調査の実演後、参加者が、OWLを使った森林調査を体験しました。午後の部では、仁多郡森林組合において、現地で収集した調査データ解析や結果の解説、島根署から「育林における低コスト化の取組」を紹介し、意見交換を行いました。

参加者からは、「OWLのデータ取得範囲、データ収集の所要時間」等の質問、「OWL体験が参考になった」、「低コスト再造林に関する検討会等を今後も実施して欲しい」等の意見がありました。

島根署では、今後も多様化する林業の課題や地域のニーズに応じた「現地検討会」を開催し、国有林で得られた知見について民有林関係者と情報共有しながら、林業の効率化・省力化や生産性の向上を図っていきます。



OWLの実演（午前の部）



育林の低コスト化説明（午後の部）

林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課

国民の森林・国有林



TEL : 06-6881-3524 FAX : 06-6881-3553

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

今号は、近畿中国森林管理局管内で実施した現地検討会を紹介しました。現地検討会は、三密回避、ソーシャルディスタンス確保等に配慮しながら実施しましたが、コロナウィルス拡大により中止せざるを得なかった現地検討会もありました。来年度は、予定どおり開催出来ることを願うばかりです。